



私たちには

安全で安心な食品を届ける責任があります

「食の安全・安心」推進に向けた取り組みは必要？

食品への信頼が、私たちの雇用・生活の安定につながる

食品関連産業で働く私たちは、人の命に関わる食品を提供しています。私たちには、安全・安心な食品を消費者に届ける社会的責任があります。

ネットですぐに情報が拡散する異物混入や食品偽装、機能性表示のスタートや食品表示法一元化といった状況がある中で、フードチェーン全体で食の安全・安心を守っていく必要があります。

安全・安心な食品を提供することは食品関連産業の信頼につながり、私たちの安定した雇用・生活の安定につながります。

「食の安全・安心」への取り組みを怠ると……



私たちには何ができるだろう？

一人ひとりが当り前のことを当り前にやって「安全・安心な食」を提供しよう

活用しよう ツールや制度を利用して「食の安全・安心」をチェックしよう

YES or NO! 職場風土セルフチェックシート

「食の安全・安心」確保には職場の風土が大切です。チェックシートで、あなたの職場を振り返ってみましょう。



部門別活動チェックシート

「食の安全・安心」を守るために、職場でどのような点に注意して活動すれば良いか、確認してみましょう。



内部通報制度

「おかしい」と思った時は会社のホットラインや、国の公益通報窓口、労働組合に連絡をしましょう。



チェックシートダウンロードはコチラから ▶ <http://www.jfu.or.jp/action/seisaku.htm>

話そう コミュニケーションをはかって「食の安全・安心」確保につなげよう

私たちの職場には監視カメラやセンサーなど、安全のための機器が多く導入されています。しかし、設備が充実していたとしても、食品を消費者に届けるのは私たち一人ひとりに他なりません。一緒に働く仲間との日々の会話、コミュニケーションを大切

にして、「風とおし」の良い職場づくりを心がけましょう。何かおかしいと思った時、仲間と声をかけあいましょう。それが「食の安全・安心」確保につながります。

